

文化 × 創造力で未来をつくる

茅ヶ崎市では、創造的な発想で行動・活動をする人を広く「クリエイター」と捉え、創造都市「クリエイターシティ・チガサキ」を掲げています。多くの文化人が暮らし、文学や映画、音楽など多彩な作品が生まれる文化の発信地として広く認識されるようになった歴史を土台に、これからもクリエイターが育ち、集まるまちをつくり、誰もが「クリエイター」となって、文化や創造性でさらにまちが盛り上がることを目指し、シンポジウムを開催します。

日時 令和8年(2026年)3月28日 土
13:30～16:00 (13:00開場)

会場 茅ヶ崎市役所 本庁舎4階
会議室4・5
茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号



宮治 淳一 氏



森 浩章 氏



山口 理紗子 氏



三澤 拓哉 氏

第1部 基調講演

『人』で語られるまち・茅ヶ崎

加藤 厚子 氏 茅ヶ崎ゆかりの人物館運営アドバイザー

第2部 クリエイターシティ・チガサキ プロモーションビデオ上映会

第3部 パネルディスカッション

無から有を創り出す人が集うまち

モデレーター

宮治 淳一 氏 音楽プロデューサー

パネリスト

森 浩章 氏 茅ヶ崎映画祭実行委員長

山口 理紗子 氏 chigasaki kodomo cinema 代表

三澤 拓哉 氏 映画監督

申込期間

2月16日(月) 8:30～3月12日(木) 23:59

申込方法

市ホームページ(二次元コード)からお申込みください。 >>>
※抽選結果は、メールにて申込者全員にお知らせします。



お問合せ

茅ヶ崎市文化スポーツ部文化推進課
☎ 0467-81-7148 (直通)

第1部 基調講演

『人』で語られるまち・茅ヶ崎

茅ヶ崎は20世紀初めから、演劇・映画・文芸・音楽・美術など、さまざまな分野で活動する人が訪れ、集まり、暮らすまちでした。そして、これらの人の名前とともに、茅ヶ崎という地名も全国に知られていきました。いわば、昔から「クリエイターシティ」だったのです。どんな人がいたのか、茅ヶ崎との「ゆかり」はどのようなものだったのか、その歴史をひもといていきます。

加藤 厚子 氏 茅ヶ崎ゆかりの人物館運営アドバイザー / 茅ヶ崎市史編さんアドバイザー

映画産業や湘南地域との関わり、戦後文化における湘南地域の位置づけについて調査研究を行っている。茅ヶ崎ゆかりの人物館ラボラトリーでは、「茅ヶ崎の映画史研究室」を担当。映画を茅ヶ崎の「歴史遺産」の一つと捉え、茅ヶ崎と映画とのかかわりについて、研究生と共に考察し、展示発表を行った。

『茅ヶ崎ゆかりの人物本』(共著)、『茅ヶ崎市史ブックレット』(「第7集銀幕のなかの茅ヶ崎」)などを執筆。

第2部 クリエイターシティ・チガサキ プロモーションビデオ上映会

クリエイティブな活動を行っている方や活動を支援している方にご協力いただき、「クリエイターシティ・チガサキ」の魅力を伝えるプロモーションビデオを制作しました。本シンポジウムにて初公開します。

第3部 パネルディスカッション

無から有を創り出す人が集うまち

映画や文化の現場で活動する登壇者が、「何かを生み出し続ける」茅ヶ崎の魅力について語り合います。

宮治 淳一 氏 音楽プロデューサー / ラジオDJ

小学生時代ビートルズ、ベンチャーズにはまり以後洋楽を志す。大学卒業後レコード会社勤務の傍らラジオでDJ、選曲を手がける。担当した海外アーティストは、エンヤ、マドンナ、レッド・ホット・チリ・ペッパーズなど。音楽資料館・カフェ「ブランディン」では、収集した膨大なレコード、音楽書籍を一般に開放している。2017年『ドゥーワップ・ナゲッツ』で日本レコード大賞企画賞を山下達郎氏と共に受賞。茅ヶ崎FMの設立発起人で、同局でパーソナリティを務める。

森 浩章 氏 茅ヶ崎館代表 / 茅ヶ崎映画祭実行委員長 / 湘南邸園文化祭連絡協議会会長

映画監督・小津安二郎らが定宿としたことでも知られる別荘宿・茅ヶ崎館の五代目として、執筆活動などを行うお客様と日々接しつつ、歴史や風土を活かして新しい文化を創造する活動を支援し、湘南地域の文化意識の継承と向上を行っている。

山口 理紗子 氏 chigasaki kodomo cinema 代表

子どもたちがアイデアを出し、仲間と考えながら映画をつくるプロセスを大切に活動「chigasaki kodomo cinema」を主宰。茅ヶ崎の建築設計事務所にて設計の仕事に携わりながら、もう一つの活動、『茅ヶ崎とコーヒー』の企画運営を通じて、茅ヶ崎で文化と創造性が育つ場づくりを実践している。

三澤 拓哉 氏 映画監督 / 風像代表

オール茅ヶ崎ロケの映画『3泊4日、5時の鐘』(2014)で監督デビュー。国内外で3つの賞を受賞。長編第2作『ある殺人、落葉のころに』(2019)では、第35回高崎映画祭 新進監督グランプリを受賞。2022年にプロダクション「風像」を設立し、映像制作に加えて、映画・動画のワークショップ事業にも取り組んでいる。